地理歴史・公民科

教 科 名	公民科	科 目 名	現代社会
科目の目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて，広い視野に立って，現代の社会と人間についての理解を深めさせ，現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。		
履修学年	1年	類型	
単 位 数	2単位	履 修 形 態	必修
教 科 書	現代社会（東京書籍）	副 教 材 等	2020ｽﾞｰﾑｱｯﾌﾟ現代社会資料

①　学習の目標…旭東DPのうち特に（認知力、共感力、探究力、創造力）を育成する。

（1）　現代社会は、現代の社会の特質を踏まえ、未来の社会のあるべき姿を探究・創造する科目です。そのため、現代の社会に対して共感しようとする力・態度を養います。

（2）　また、共感力を磨くために、社会事象や他者の思考を適切に受け止めるための認知力、そして、未来の社会に対するあるべき姿を模索する探究力と創造力を養います。

（3）　旭東DPのうち認知力、共感力、探究力、創造力の各項目における達成評価表に基づく自己評価がC段階にとどまるものが0になることを目指します。

②　学習内容と授業の進め方

(1) グローバル化の進展では、国内社会と国際社会の構造の違いを踏まえて、政治や法・経済の本質的なあり方を重視して、国際社会における課題について主体的に考察する態度を培います。

(2) 人口減少社会の進展では、少子高齢化と密接な関係がある社会保障や日本の財政、地方自治について踏まえ、少子高齢社会における課題について主体的に考察する態度を培います。

(3) 科学技術の発展では、急速に発達する科学技術に対し、人間のあり方を踏まえて、社会と人間がどのように関わるべきかについて主体的に考察する態度を培います。

(4) 目標を達成するために、講義を主として進めますが、グループ学習や授業での気づきを重視し、多様な言語活動によって表現する活動を行います。また、外部人材を登用し、社会に対する認識を広

③　学習に当たっての留意点

中学校までの社会の学習を踏まえ、グローバル・人口減少・科学技術発展を柱とし、現代社会に対する認識を広げていきます。また、SDGsとの関係性を常に意識し、地球市民として私たちが育むべき態度を模索するようにつとめてください。

現代社会は、公民という教科の1つの科目として位置づけられていますが、地歴・公民科の導入科目にあたり、2年次以降に学ぶ地歴(世界史、日本史、地理)、公民(倫理、政治・経済)の学習や社会科学の方法を学ぶための基礎科目としての性格を持っています。事項の暗記にとどまらず自己の興味・関心の幅を広げてください。1年間の学習を通して、社会の様々な事象に興味・関心を持ち、自ら考え・調べる態度を養い、自己の生き方を自ら判断していく能力を身につけてください。

④　評価の観点…学習指導要領上の観点と重視する旭東DPの関係性。

力・態度	学習指導要領の観点	S（価値創造的）	A（問題解決的）	B（標準的）	C（要改善）
認知力	知識・理解【知】	社会事象を具体化・抽象化して捉えることができる。	社会事象を多面的な視点で捉えることができる。	社会事象を主観と客観に分けて捉えることができる。	社会事象を主観で捉えることにとどまっている。
共感力	関心・意欲・態度【関】	他者や社会との関係性の中で、適切な自己の役割を見出そうとする。	自ら他者や社会と繋がろうとする。	他者の存在や社会の在り方を受け止めようとする。	自らの世界にとどまっている。
探究力	思考・判断・表現【思】 技能【技】	広げ・高め・深めるためさらに問い続けようとする。	自ら立てた問いに対し解決への道筋を探ろうとする。	自ら問いを立てようとする。	問いを与えられることにとどまっている。
創造力	関心・意欲・態度【関】	時代や社会の変動を見据えて、複合的な視点から新たな価値を提案しようとする。	特定の社会背景の中で、複合的な視点から新たな価値を生み出そうとする。	現状の課題を認識し、自ら次の段階を切り拓こうとする。	現状の社会に流されている。

⑤評価の方法

上記の観点別に作成した定期考査・思考のフレームワーク・学びの発見ノートの提出をふまえて、総合的に評価判定を行います。

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など（観点項目を記入）
4 5 6 7 8 9	第2部　第1章　青年期と自己形成の課題 第2部　第5章国際社会と人類の課題	教科オリエンテーション（現代社会の学び方） **※グローバル時代における未来のよりよい社会と** **1　現代社会と青年の生き方** 1　現代社会と青年～グローバル化した社会 **1　国際政治の仕組みと動向** 1　国際社会の特質 2　国際紛争避けるしくみ 3　国際連合と安全保障 4　国際連合の役割と課題 5　冷戦とその後の世界 6　軍縮への取り組み **2　国際経済のしくみと動向** 1　貿易と国際分業 2　外国為替のしくみと国際収支 3　戦後国際経済の枠組みとその変化 4　対立と協調の時代 5　グローバル化する経済 **3　国際社会の現状と課題** 1　地域統合の進展 2　変容する世界経済 3　国際的な格差の是正 4　地域紛争と難民問題 5　国境をこえて広がる地球規模の課題 6　日本の役割 第1部テーマ1　地球環境問題 **前期期末考査**	・グローバル化による社会的課題を認識し、国際社会の成立における原則を踏まえ、国際政治の現状や国際経済の現状について理解している。【知】 ・グローバル社会における社会的課題の解決方法について、学習した知識を基にして考察することができる。【思】 ・グローバル社会における社会的課題の認識のために、効果的に資料を活用し、客観的データを基に課題の提示を行うことができる。【技能】 ・グローバル社会における社会的課題を学習した内容から、どのように解決すべきか、自己の在り方生き方と連動させながら、関心を深めることができる。【関】
10 11	第2部　第1章　青年期と自己形成の課題 第2部　第4章　現代の経済と国民福祉 第2部　第2章　日本国憲法と民主政治	**※人口減少時代における未来のよりよい社会と** **1　現代社会と青年の生き方** 1　現代社会と青年～少子高齢化と人口減少社 **3　豊かな生活の実現** 3　現代の雇用・労働問題 4　社会保障の役割＋顕在化する格差社会 **1　経済のしくみ** 3　市場経済のしくみ 7　政府の役割と財政＋身のまわりの税とその考 **3　日本の政治機構** 4　地方自治 **後期中間考査**	・人口減少時代における社会的課題を認識し、雇用や社会保障の在り方や市場経済のしくみと日本の財政・地方自治の在り方との関連を踏まえ、現状について理解している。【知】 ・人口減少時代における社会的課題の解決方法について、学習した知識を基にして考察することができる。【思】 ・人口減少時代における社会的課題の認識のために、効果的に資料を活用し、客観的データを基に課題の提示を行うことができる。【技】 ・人口減少時代における社会的課題を学習した内容から、どのように解決すべきか、自己の在り方生き方と連動させながら、関心を
11 12 1 2 3	第2部　第1章青年期と自己形成の課題 第1部　私たちの生きる社会 第2部　第1章青年期と自己形成の課題 第2部　第2章日本国憲法と民主政治 第2部　第3章現代社会と法	**※科学技術発展時代における未来のよりよい社会とは？** **2　よりよく生きることを求めて** 3　近代科学の考え方 テーマ3　科学技術の発達と生命 テーマ4　情報化の進展と生活 **2　よりよく生きることを求めて** 5　人間性の回復を目指して 実存主義～現代のヒューマニズム **1　現代社会と青年の生き方** 2　青年期の発達課題 **2　よりよく生きることを求めて** 1　哲学と人間 2　宗教と人間 6　日本の伝統思想の考え方 7　外来思想の受容と日本人の自覚 **後期期末考査** **※主権者としてよりよい社会をどう実現するか？** **テキスト「私たちが拓く日本の未来」** **4　現代政治の特質と課題** **1　現代社会と法**	・科学技術の発達による社会変動を踏まえ、現代社会における社会参加の意義を認識し、現状について理解している。【知】 ・科学技術の発達が、社会に対して人間が引き起こした社会的課題の解決方法について、学習した知識を基にして考察することができる。【思】 ・科学技術の発達の時代における、社会と人間との関わりの中で社会的課題の認識のために、効果的に資料を活用し、客観的データを基に課題の提示を行うことができる。【技】 ・科学技術発達の時代の中で、社会的課題を学習した内容から、どのように解決すべきか、自己の在り方生き方と連動させながら、関心を深めることができる。【関】